東出雲の三傑紹介

陣幕久五郎

文政 12 年（1829 年）下意東の貧しい農家に生まれた久五郎は幼少の頃より力が強く、19 歳の時に広島県尾道市の力士に弟子入りしました。

その後江戸へ出て腕を磨き 39 歳の時に第 12 代横綱の免状を手にしました。入幕から引退までの勝率は 94.6%。取り口はじっくりと腰を据えるタイプで、一度土俵際で踏ん張れば攻略不能で「負け知らずの陣幕」の異名をとりました。また、終生ただの一回も待ったなしの輝かしい記録を残しています。

市川門之助

幕末の文久 2 年（1862 年）揖屋に生まれた歌舞伎役者。正月の芝居に子役で出演したのをきっかけに芸の道へ進み、大阪・東京で数々の舞台に出演しました。その後市川宗家に入門し、市川女寅（めとら）と名乗りました。晩年 6 世門之助を襲名しましたが、女寅の時代が長かったため「女寅はん」の名で親しまれ、女形として 9 代市川団十郎らとともに活躍しました。

佐藤忠次郎

佐藤造機（株）（現在の三菱マヒンドラ農機（株））創設者で、農業機械の発明王と言われています。

少年の頃、自転車で田んぼを走っている途中にくぼみにはまって倒れ、横転した自転車の車輪に巻き込まれた稲穂がバラバラと取れる動きをヒントに回転式稲扱機を作りました。その後研究を重ね、数々の農機具を発明し、市場を開拓して、町産業の主軸となりました。

お問い合わせ

●松江観光協会東出雲町支部
〒699-0109　島根県松江市東出雲町錦浜 583-18
TEL0852-52-2428　FAX0852-52-2428
[URL]http://www.hizumo-bussan.jp/

ひがしいずも

見つける！
欲しい！
楽しむ！

東出雲町攻略ガイド

ようこそ、東出雲町へ

広域アクセスマップ

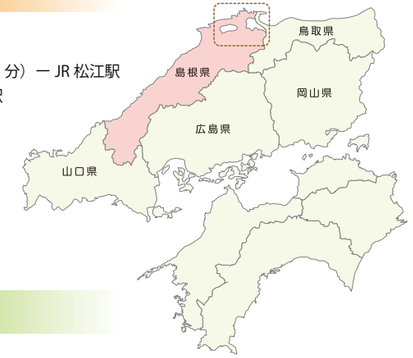
空から

出雲縁結び空港

出雲縁結び空港ー（空港連絡バス約 40 分）ー JR 松江駅
ー（JR 山陰本線 約 15 分）ー JR 揖屋駅

米子鬼太郎空港

米子鬼太郎空港ー（JR 境線又は空港連絡バス約 25 分）ー JR 米子駅ー（JR 山陰本線約 20 分）ー JR 揖屋駅



陸から

乗用車

岡山方面より　中国自動車道《落合 JCT》ー（米子自動車道）ー（山陰道）ー東出雲 IC
広島方面より　中国自動車道《三次東 JCT》ー（松江自動車道）ー（山陰道）ー東出雲 IC
尾道方面より　（尾道自動車道・松江自動車道）ー（山陰道）ー東出雲 IC

鉄　道

JR 岡山駅ー（伯備線「特急やくも」約 2 時間）ー JR 米子駅ー（山陰本線約 20 分）ー JR 揖屋駅

ひがしいずも

東出雲町探検マップ

家族で出かける東出雲町・攻略ガイド

●東出雲、あなたはいくつ攻略できる？

島根県の東部に位置する松江市東出雲町は、古事記や日本書紀、出雲国風土記にも現れる数多くの古代神話や伝説などによって印象づけられています。

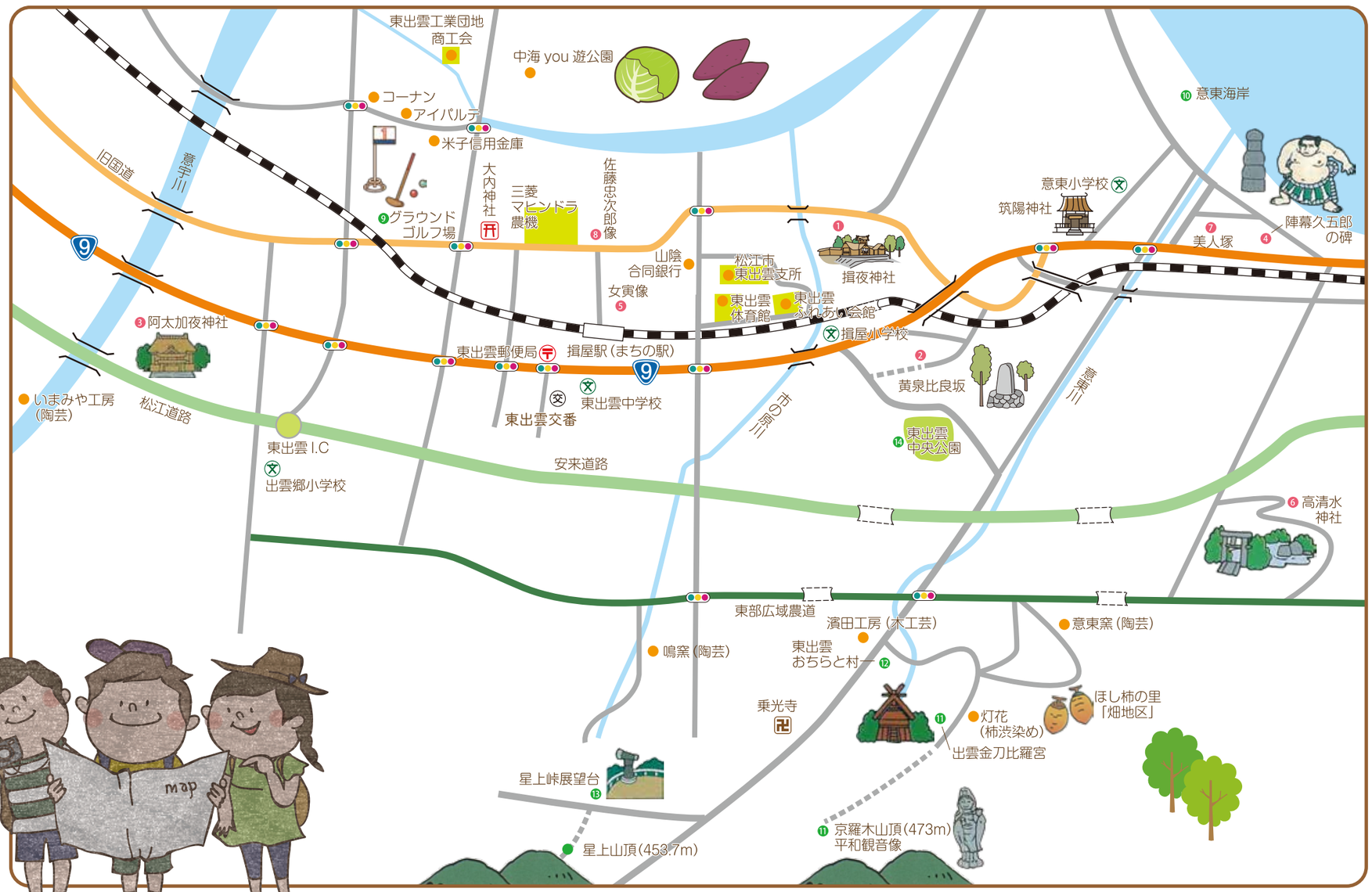
汽水湖で知られる中海からは豊富な魚介類など美味しい幸、豊かな大地からは新鮮な野菜や美味しい地酒、緑の山々からはふるさとの香りいっぱいの農産加工品など物産の宝庫です。

こんな東出雲町を＜見つける！＞＜楽しむ！＞＜欲しい！＞の３つのキーワードに分けました。

＜見つける！＞では歴史的スポットを紹介。＜楽しむ！＞では東出雲ならではの楽しめるスポットを紹介。＜欲しい！＞では東出雲町の恵まれた物産を紹介。

この３つのキーワードを参考に東出雲町をご家族で攻略してください。

また、揖屋駅の隣にある「まちの駅」ではさまざまな情報を発信していますので、この場所から攻略をしてみてはいかがですか。



見つける！

1. 揖夜神社
2. 黄泉比良坂
3. 阿太加夜神社（門部王の歌碑 ホーランエンヤ）
4. 陣幕久五郎の碑
5. 女寅像（市川門之助）
6. 高清水神社（名水の紹介）
7. 美人塚
8. 佐藤忠次郎像

楽しむ！

9. グラウンドゴルフ場
10. 意東海岸
11. 京羅木山ハイキング（出雲金刀比羅宮～平和観音像）
12. おちらと村
13. 星上峠展望台
14. 中央公園

欲しい！

- ほし柿
- 京羅木の幸（みそ・漬物）
- つくだに
- かまぼこ
- 地酒
- 工芸品

神話から始まる歴史の扉。その入り口が東出雲町にはたくさん開いています。

見つける！

揖夜神社　いやじんじゃ

風土記に「伊布夜社（いふやのやしろ）」、日本書紀に「言屋（いふや）社」の名で登場する揖夜神社は、旧国道沿いの森の中に鎮座します。本殿は大社造りで、ご祭神にイザナミ命を祀り、黄泉の国と縁の深い神社として中央でも重視されました。毎年８月28日に行われる揖夜神社の「穂掛け（ほかけ）祭」では、盛大な船神事と美しい鈴成提灯が幻想的な一夜を演出します。

揖夜神社

揖夜神社壁画「穂掛祭の図」

黄泉比良坂　よもつひらさか

黄泉比良坂は、イザナギ命が先立たれた最愛の妻イザナミ命を慕って訪れた黄泉の国（あの世）と、現世（この世）の境界とされ、古事記では黄泉比良坂を出雲国の伊賦夜坂（いふやざか）であるとしています。また、現在この地に建つ「神蹟黄泉比良坂伊賦夜坂傳説地」の石碑は、昭和15年７月、当時の揖屋町長であった佐藤忠次郎（東出雲の三傑の一人）が、この神蹟地が荒廃していくのを嘆き、皇紀2600年記念事業として建てられました。

阿太加夜神社

阿太加夜神社　あだかやじんじゃ

意宇川（いうがわ）のほとりに、「有」の社紋をもつ大社づくりの本殿が拝まれます。境内には８世紀中頃の出雲国司であった門部王（かどべのおおきみ）が、奈良の都へ望郷を募らせて詠んだ歌、「飫海乃河原之乳鳥汝鳴者吾佐保河乃所念国（おうの海の河原の千鳥汝が鳴けば吾が佐保川のおもほゆらくに）」の碑が建立されています。また、阿太加夜神社では、松江城山稲荷神社との間で10年に一度行われる日本三大船神事の一つ「ホーランエンヤ」の地としても有名です。

門部王の歌碑

古くから伝わる伝承には、その場 に立つことで体感する何かが必ずあるはず。

見つける!

陣幕久五郎の碑　じんまくきゅうごろうのひ

東出雲の三傑の一人で、第 12 代横綱「陣幕久五郎通高（じんまくきゅうごろうみちたか）」が、引退後の明治 5 年、45 歳の時に自ら建立した石碑で、「日本横綱力士陣幕久五郎通高碑」と彫られています。引退直後に陣幕親方を襲名した第 58 代横綱千代の富士関のほか、第 41 代横綱千代の山関、第 52 代横綱北の富士関、第 53 代横綱琴桜関など、数々の力士が親方となってこの碑を訪れています。

女寅像　めとらぞう

東出雲の三傑の一人で、「女寅（めとら）はん」の名で親しまれ、艶麗な女形として名を馳せた 6 世「市川 門之助」のブロンズ像が、平成 11 年、生家に目を向けた立ち姿で、JR 揖屋駅横の揖屋ふれあい広場に建立されました。

高清水神社　たかしみずじんじゃ

高清水の名のとおり、豊富な湧き水をたたえる小池のほとりに小さな祠があります。この水は京羅木山かつながる水脈と見られ、干ばつ時にも尽きることがなく、霊水としての信仰を得ています。高清水は島根の名水百選にも選ばれています。

美人塚　びじんづか

その昔、上意東の大江（だいご）の地の「稚児が池」で産湯につかった女の子はたぐい稀な美女に育ち、婿をとって幸せに暮らしていましたが、あまりの美しさゆえに都に無理やり連れて行かれ夫婦離ればなれの悲しい運命をたどりました。この塚には、そんな大江美人の悲しく哀れな夫婦愛の伝説が秘められおり、周辺には伝説にちなんだ花しょうぶが植えられています。

佐藤忠次郎像　さとうちゅうじろうぞう

東出雲三傑の一人で、町産業の主軸である農業機械製造の佐藤造機（株）（現三菱マヒンドラ農機（株））初代社長、佐藤忠次郎の銅像で、本社横の記念公園にあります。この銅像は左藤造機（株）の全国特約店各位が忠次郎の徳を慕って集めた基金により昭和 35 年に建立されたもので、郷土出身の彫刻家安達貫一氏の作です。

東出雲町には、自然と人との交流ステージが点在。自分流の楽しみを発見。

楽しむ!

東出雲グラウンドゴルフ場

東出雲グラウンドゴルフ場では、昭和 57 年に鳥取県泊村で考案されたニュースポーツ「グラウンドゴルフ」を、日本グラウンドゴルフ協会公認のコースでプレイすることができます。平成 13 年 7 月にオープンし、芝生コース 8 ホール、クレーコース 8 ホールの計 16 ホールで、高齢者はもちろん家族でも気軽に楽しめます。ご利用には事前の申込が必要ですので、グラウンドゴルフクラブハウス（TEL0852-52-7560）までお問い合わせください。

意東海岸　いとうかいがん

ラムサール条約に登録された中海を望む意東海岸は、カモなどの野鳥の楽園です。また、海岸から遠く東の方向に目を向けると、出雲富士と称される雄大な大山（だいせん）の姿を見ることができます。

京羅木山　きょうらぎさん

東出雲町と安来市広瀬町との境に位置する京羅木山は、中海・宍道湖が眺望でき、眼下には広瀬の町並みが広がります。中世には大内・尼子・毛利の古戦場でもあったこの山の山頂には平和観音像が建てられており、毎年 9 月 23 日に行われる平和観音祭で、戦没者の慰霊と恒久平和を祈念しています。

出雲金刀比羅宮　いずもことひらぐう

京羅木山の中腹に、大物主命（大黒様）を祀り、毛利元就が武運を祈って建立したといわれている出雲金刀比羅宮があります。随神門に祀られる随神は、座像で 5 尺 6 寸（約 1.7 m）もあり、日本五大随神の一つといわれています。また、出雲金刀比羅宮から平和観音像のある京羅木山頂まで約 2 ㎞の手軽に楽しめるハイキングコースがあり、多くの人が京羅木登山を楽しんでいます。

東出雲おちらと村　ひがしいずもおちらとむら

高齢者の生きがいと健康づくりを図るための体験型施設として、東出雲おちらと村は平成 14 年 4 月に開村しました。

囲炉裏を囲む交流ホールや視聴覚室などを備えた「ふれあい館」、調理実習室や試食室などを備えた「ふる里あじわい館」、そして木工や竹細工などが行える作業室を備えた「手作り館」からなり、充実した活動ができます。「おちらと」は出雲弁で「ゆっくりと」という意味です。

中央公園　ちゅうおうこうえん

春になると桜で賑わうこの公園には、多目的グラウンド、テニスコート、野球場、児童公園が完備されています。

星上峠展望台　ほしかみとうげてんぼうだい

東出雲町南部に京羅木山と並んでそびえる星上山。その星上峠展望台は、東出雲町上意東（かみいとう）地区から八雲町へ抜ける途中に位置し、広大な揖屋干拓地をはじめとした町内はもとより、ラムサール条約に登録された宍道湖・中海や島根半島が一望できる雄大なパノラマが広がります。天気の良い日には遠く隠岐諸島を望むこともできます。

味の逸品。風情をとどめる陶芸・木工芸など、個性豊かな産品が勢揃い。

欲しい！

ほし柿

東出雲町南部の山間地に位置する上意東・畑（はた）地区は、冬の北西風を通す地形に恵まれ、戦国時代からほし柿が伝えられています。適度なやわらかさを保ちながら白い果糖の装いと共に独特の風味をつくりあげ、色合い・大きさ・味の三拍子が揃い、飴色の宝石と言われています。また毎年 11 月中頃には、柿を干すための専用小屋に吊るされた柿すだれが晩秋の風物詩となっています。

せんべい

「しょうが」、「上みそ」、「蜂蜜ふらい」など、昔ながらの素朴な味わいを守りつづけ、丹精込めてつくられるせんべい。お子様から、おじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い年代に人気があり、ほんのりとした甘みで、お茶うけに、またご贈答にと愛されています。

京羅木の幸

京羅木山のふもとで採れた農産物を真心込めて加工した、田舎作りの懐かしい味です。ふるさとの香りをいっぱい詰めた、味噌や漬物、水煮をご賞味ください。

陶芸・木工芸

町内には木工芸の工房や陶芸の窯元があり、それぞれに実用面に芸術を加味した独創的な作品を作り出しています。

濱田工房

鳴窯

意東窯

つくだに

アミ（オダエビ）、ハゼ、アマサギ（ワカサギ）、シジミ、小鯛などの中海の新鮮な素材の佃煮が独特の風味を作り出しています。

かまぼこ

「揖屋かまぼこ」は町を代表する特産品で、歴史と伝統につちかわれ、ふっくらとやわらかく後味の良さが特徴です。揖屋かまぼこには、島根県の県魚でもある「アゴ（トビウオ）」のすり身を用いた「あご野焼き」、麦わらやストローで巻いて蒸しあげた「ストかまぼこ」、すり身に卵と砂糖をたっぷり加えて表面を焼きロール状に巻き蒸した「玉子巻」、お祝い事に用いられる「細工かまぼこ」。このほか「板付けかまぼこ」や「天ぷら」など豊富な種類があり、厳しい品質管理のもとにつくられています。その生産高は島根県一を誇っています。おかずはもとより、お茶うけとして、お酒の肴として幅広く食されています。